

奈良大学地域連携教育研究センター主催

# 大学の地域貢献を考える交流ワークショップ

## 「ダム建設を抱えた集落の過去と現在」

奈良大学地域連携教育研究センターでは、ダム建設によって奈良県南部の吉野郡から北部の奈良市へと移転した集落の調査をしています。今年度はその成果の一部を、奈良大学博物館の企画展示「ダム建設にともなう集落の移転と物に託された記憶ー奈良市津風呂町の歴史デジタルアーカイブー」として公開しました（現在開催中）。今回はその取り組みの紹介に加えて、同じような問題を抱える集落の調査をしている福岡大学と同志社女子大学の関係者をお招きし、各大学の取り組みを紹介していただきます。

大学生と担当者がともに大学の地域貢献について意見交換をし、交流する機会にしたいと思います。

**日時：**2009年12月2日（水） 16：30～18：30

**場所：**奈良大学通信教育部棟 L-202 教室

### ● 発表

#### 1. 「奈良市津風呂町の歴史デジタルアーカイブ」

正司哲朗・松下朋生（奈良大学・地域連携教育研究センター）

#### 2. 「地域との『お付き合い』ー福岡大学における地域との関わり」

河口綾香（福岡大学・文化人類学研究室）

#### 3. 「『残す』をめぐると地域と大学ー福岡・小石原川ダムを事例に」

藤坂彰子（福岡大学・文化人類学研究室）

#### 4. 「地域主体の環境保護・文化振興を再興する：奄美・加計呂麻島の調査を事例として」 大西秀之（同志社女子大学・グローカリズム研究会）

### ● 全体討論

◆関心のある学生さん、教職員、一般の方々の積極的な参加をお待ちしております。

（問い合わせ先）奈良大学地域連携教育研究センター

E-mail: g\_rcnl@daibutsu.nara.-u.ac.jp  
内線：2200 直通電話：0742-41-6554